

目次

[概要](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[デフォルトの動作](#)

[解決策](#)

[消える GRUU モードでの動作](#)

[関連情報](#)

概要

この資料は Cisco Unified Presence 情報を受け取らないプロキシによって登録されているクライアントにおけるよく見られる問題を記述したものです。

問題

movi クライアントが VC コントロールによって統一される Presence に Cisco TelePresence Video Communication Server (VCS) 高速道路に登録されているプロキシのとき他のユーザについての情報はこのクライアントで利用できません。

解決策

デフォルトの動作

グローバルにルーティングできるユーザ エージェント 定型 資源 識別子 (URI) (GRUU) モードはデフォルト設定のとき、クライアントおよびサーバが両方 GRUU のためのサポートの開始を発表することが VC コントロールの登録 手順でわかります:

クライアントが統一された存在イベントのために定期講読するとき、連絡先ヘッダがこの ID が含まれていることを見ることができます: `eurou6.movi@domain.com`:

連絡先ヘッダが ID が含まれているとき、呼出 メッセージはこの ID に送られています:
`eurou6.movi@domain.com`:

VC コントロールは VC 高速道路にこの呼出 メッセージを送ります; IP アドレスとドメインを取り替えるために Domain Name Server (DNS) ゾーンが VC 高速道路で設定されなければメッセージはクライアントに達しません。

設定されるドメインを解決する DNS ゾーンがあるとき、VC 高速道路にそれからそれを送り返すと最終的に多くのオーバーヘッドという結果に終るクライアント送られますこの呼出 メッセージはに VC コントロール。

解決策

VC コントロールによって統一される存在問題へのソリューションはこのコマンドを使用してクラスタのすべての同位でこれする必要があります VC コントロールの GRUU をディセーブルにすることです:

グローバルにルーティングできるユーザ エージェントに関する詳細については URI は [RFC 5627](#) を示します。

消える GRUU モードでの動作

GRUU が消えるとき、サーバが GRUU のためのサポートを追加しない登録 プロシージャの違いを表示できます:

サーバが GRUU のためのサポートを追加しないとき、クライアントは定期講読メッセージの連絡先ヘッダのドメイン名の代わりに IP アドレスを追加します:

VC コントロールがプレゼンス情報を用いる呼出 メッセージを送信 する場合、この ID にそれを送信 します: `eurou6.movi@10.60.193.132:63169`:

この出力例は呼出 メッセージが VC 高速道路でクライアントに送られることを示します。

関連情報

- [RFC 5627 -グローバルにルーティングできるユーザ エージェント \(UA \) URI \(GRUU \) を Session Initiation Protocol \(SIP \) で得、使用します](#)